

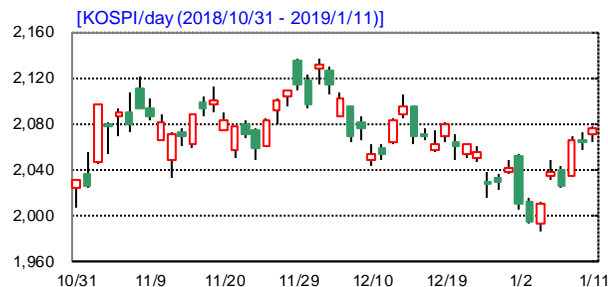


【韓国】 総合指数は 3.2%高と 6 週ぶり反発、今週は中国の重要経済指標に注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.2%高と 6 週ぶりに反発。米中の貿易協議が進展するとの期待感に加え、パウエル米 FRB 議長が利上げを一時停止する可能性を示唆したことで投資家心理が改善した。週明け 7 日は反発スタート。サムスン電子など主力ハイテク株が買われた。8 日は利益をいったん確定する売りが優勢。四半期ベースで 2 年ぶりの営業減益決算を発表したサムスン電子が売られた。一方、米中協議が延長された 9 日は買い戻しが入って反発。前日に売られたサムスン電子や半導体大手の SK ハイニックスが大きく上昇した。10 日は小反落したものの、11 日は新興国からの資金流出懸念が後退し、約 3 週ぶりの高値で終えている。今週は国内では貿易統計が発表される予定。中国では金融統計や住宅価格統計などの発表を控える。

▼指数チャート

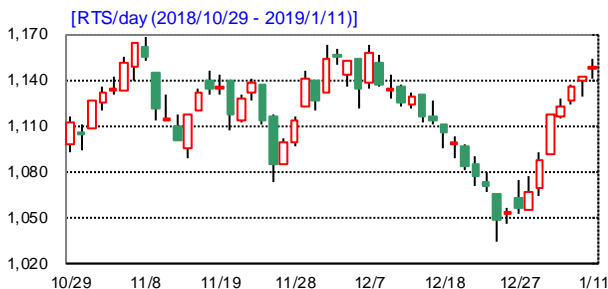


【ロシア】 RTS 指数は 2.7%高と続伸、今週は原油・為替相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.7%高と続伸。米中貿易協議の進展期待や新興国からの資金流出懸念の後退で投資家心理が好転する中、原油相場の大幅続伸が株価を押し上げた。RTS 指数は前週からの強い動きが継続。米中貿易協議への期待やそれを受けた世界的な株高、パウエル米 FRB 議長のハト派的発言を受けた新興国からの資金流出懸念の後退などで投資家心理が改善した。ブレント原油価格が約 3 週間ぶり高値をつけたことも好感され、指数は先月 26 日から 11 日まで 9 営業日続伸。個別では時価総額 2 位のズベルバンク・オブ・ロシアが 3.0%高となったほか、エネルギーのルクオイルが 2.5%高、スルグトネフテガスが 2.2%高となり、指数を押し上げた。今週は米中貿易問題や原油・ルーブル相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



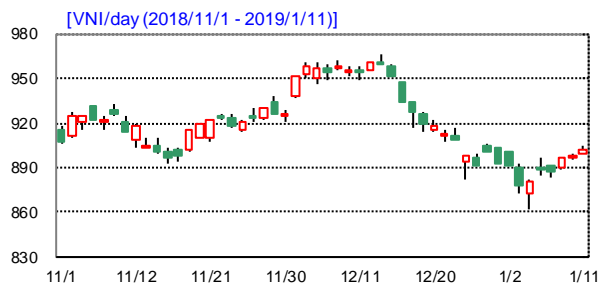
【ベトナム】 ベトナム指数は 2.5%高と 5 週ぶり反発、今週も米中関係改善期待が

支援

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 2.5%高と 5 週ぶりに反発。パウエル米 FRB 議長のハト派的な姿勢を受けて新興国からの資金流出懸念が後退したほか、米中貿易協議への期待も投資家心理の改善につながった。VN 指数は週明けの 7 日から買い戻しが優勢。パウエル米 FRB 議長が 4 日、金融政策決定において忍耐強く柔軟に臨むと語るなどさらに緩和的な姿勢を示したことで新興国からの資金流出懸念が後退したほか、米中の次官級貿易協議が始まり、貿易戦争の泥沼化で世界経済が減速する事態への警戒感が和らいだ。米中の閣僚級の通商協議の開催予定も伝わり、センチメントは一段と改善。指数は前日比で 0.2%安と小幅に下落した 8 日を除き、4 営業日で上昇した。今週は、米中関係改善への期待が引き続き相場の支援となるか。

▼指数チャート



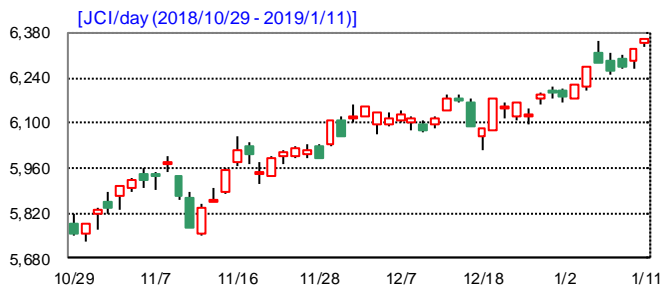


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、週末に 10 カ月ぶりの高値を更新

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と 3 週続伸。おおむね堅調に推移し、週後半には節目の 6300 ポイントを超えた。週初の 7 日は北京で始まった米中貿易協議に対する期待感から買われ、指数は 3 営業日続伸。8 日は反落したが、9 日に買い戻されると、その後は貿易摩擦緩和に対する楽観的な見方に加え、パウエル米 FRB 議長の利上げに対する慎重な姿勢が買い材料となって好地合が続いた。11 日には終値で約 10 カ月ぶりの高値を更新して取引を終えている。今週は 15 日発表の 18 年 12 月の貿易統計に対する市場の反応が注目されるほか、16-17 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

▼指数チャート

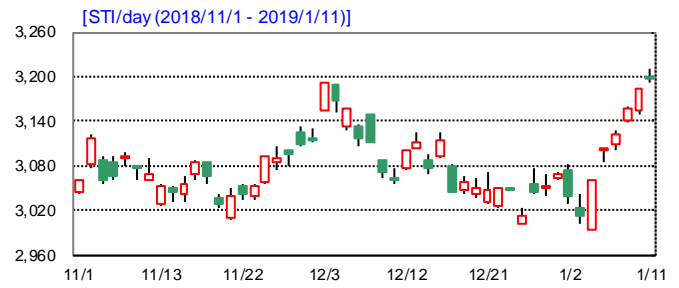


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 4.6%高、週末まで 6 営業日続伸と好調

ストレーツタイムズ指数は週間で 4.6%高と 3 週続伸。週末まで 6 営業日続伸と好調だった。7 日は金融株が指数上昇をけん引し、前営業日比 1.4%高。9 日は同日に終了した米中の次官級貿易協議で一定の進展があったとの見方が好感され、前日から 1.1%上昇した。週後半も金融株を中心に上値を広げ、11 日には場中に一時、節目の 3200 ポイントに到達し、終値で約 3 カ月ぶりの高値を更新して引けた。今週は 17 日に 18 年 12 月の非石油地場輸出が発表される予定で、前年同月比 2.6%減だった 11 月からプラスに転じれば好材料。外部要因では低調だった中国の 12 月の貿易統計に対する市場の反応が注目される。

▼指数チャート

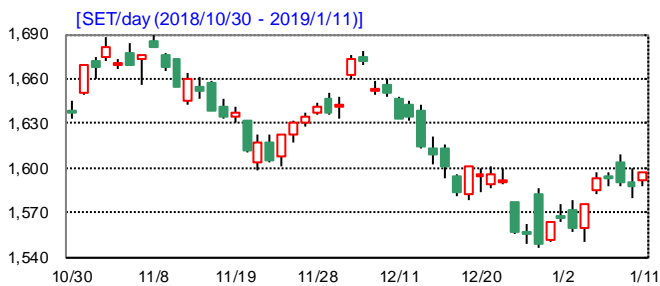


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.4%高、政府が医薬品を価格統制項目に追加

SET 指数は週間で 1.4%高と続伸。1 週間を通じて前週を上回る水準での値動きだった。週初の 7 日は前週末の NY ダウが急反発した流れで買われ、指数は前営業日比 1.1%高と続伸。8 日も小幅ながら続伸したものの、9 日は政府が医薬品と医療サービスを価格統制項目に追加した動きを受けて関連株に売りが集中し、4 営業日ぶりに反落した。10 日は金融機関の決算発表が集中する翌週を前に利益確定売りが出て続落したが、11 日は中国の劉鶴副首相が貿易協議のため、今月末に訪米する見通しとなったことが好感され、反発して引けた。今週も国内の経済指標の発表が少なく、外部要因が相場を左右しそうだ。

▼指数チャート

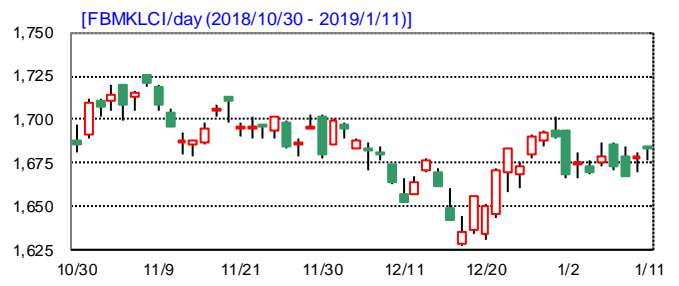


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%高、今週は為替の動向に注目

クアラルンプール総合指数は週間で 0.8%高と反発。週後半の買い戻しが指数を支えた。週初の 7 日は前週末に中国人民銀行（中央銀行）が発表した預金準備率の引き下げやパウエル FRB 議長のハト派的な発言が好感されて指数は反発。一方、8 日はドル安・リング高を背景にゴム手袋大手トップ・グローブなどの輸出関連株が売られて反落した。9 日も引け際の利益確定売りで続落したが、10 日に反発すると 11 日は 18 年 11 月の鉱工業生産が前年同月比 2.5%増と市場予想を上回ったことや原油高が買い材料となり、続伸して引けた。今週は国内の重要イベントが少なく、為替相場の動向が引き続き焦点になるか。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。